

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 【新】 「ぎふ森の体験博覧会（もりはく）（仮称）」 開催事業費
--

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

林政部 森林活用推進課 森林サービス産業支援係 電話番号：058-272-1111(内4345)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **15,127 千円** （前年度予算額： **0 千円**）

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	15,127	0	0	0	0	0	0	0	15,127
決定額	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	5,000

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

県では令和5年度、森林サービス産業の推進を図るため、ぎふ森のある暮らし推進協議会と連携し、事業者同士の交流や研修などを進めるとともに、プランナー派遣制度により事業へのアドバイスを行ってきた。魅力あるプログラムを持つ事業者は多いものの、認知度の低さ、PRの訴求性の低さなどにより、森林サービス産業が思うように推進できない現状がある。

このような中、県では、森林サービス産業プログラムを実施する事業者を支援するため、期間中、県内各地の森の体験プログラムを提供する森の魅力とつながるイベント「ぎふ森の体験博覧会（もりはく）（仮称）」を開催することにより、森林サービス産業の育成、山村地域の振興の加速化を図ることとする。

（2）事業内容

期間中、県内各地の森の体験プログラムを提供する森の魅力とつながるイベントを開催し、県内の森の体験をPRするとともに、森の体験プログラムの効果的な実施方法やPR方法についての指導を実施する。

○「ぎふ森の体験博覧会（もりはく）（仮称）」の実施
魅力ある森の体験プログラムを発掘・育成し、県内各地で実施する「ぎふ森の体験博覧会（もりはく）（仮称）」を開催する。

また、開催期間以前より取材等に基づく記事等を公開することで、各体験プログラムの実施に向けたPRを行うとともに、各事業者へのプログラム造成、PR方法等についての指導を実施することでよりよいプログラムのきっかけとする。

(3) 県負担・補助率の考え方

第4期森林づくり基本計画に基づく事業であり、森林サービス産業を育成するため県が実施することは妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	109	職員旅費109
需用費	10	消耗品費10
役員費	8	切手代8
委託費	15,000	ぎふ森の体験博覧会（もりはく）開催事業委託
合計	15,127	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。
財源については、デジタル田園都市国家構想交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

第3 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

1 森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興

(2) 国・他県の状況

国：森林サービス産業（健康経営分野）モデル事業を実施

（R3年度：7 地域支援、R4年度：5 地域支援）

(3) 後年度の財政負担

第4期岐阜県森林づくり基本計画の終期である令和8年度まで事業を実施。

(4) 事業主体及びその妥当性

森林空間の活用促進により山村振興を目指すものであり、県が実施すべきものである。

また、森林空間の活用促進には、企業・団体等の様々な知見を活用する必要があり、第4期岐阜県森林づくり基本計画において森林サービス産業の育成について明記されていることから、当該経費を支出することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 効果的なイベントにより森林サービス産業における認知度を向上するとともに、森林サービス産業を実施する事業者が訴求性の高いプログラムを実施できるようになることで、森林サービス産業を育成し、山村地域に新たな雇用と収入機会、関係人口を生み出す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①森林サービス産業起業者数（累計）	0	0	3	6	20	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)
2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】